

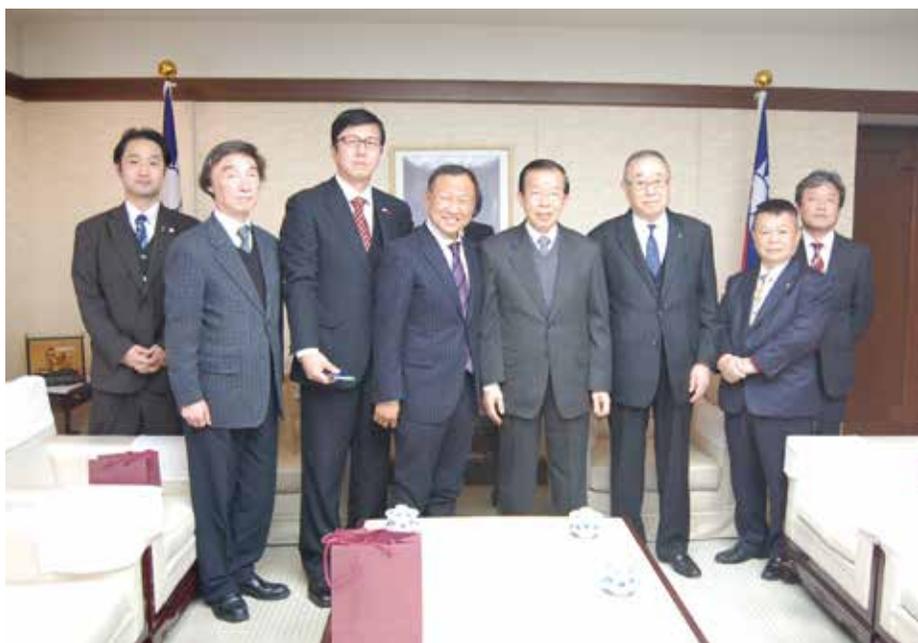
平成30年

季刊

新春号

Vol.64

亞東



協会役員 謝長廷閣下を表敬訪問（平成30年1月12日）



一般社団法人亞東親善協会

The East Asian Friendship Association

一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七—四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増

進を図る。

事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に

関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに

研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の

紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必

要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学

の斡旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

平成二四年一月六日「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、平成二五年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任されました。

二〇一三年二月、安倍会長の意を受け、会長代行・大江康弘参議院議員が会長を引き継がれ就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会員一同、役員陣容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

一般社団法人亜東親善協会・概要・変遷	二頁
目次・協会役員名簿	三頁
大江会長の新年のあいさつ	四頁
二〇一八年元旦謝代表の祝辞	六頁
台湾フェスタ今年も開催	七頁
一二月に理事会、研修会、懇親会開催	九頁
台湾からの留学生の国会見学会を開催	一一頁
国会見学 感想	一二頁
平成三〇年謹賀新年名刺広告	一四頁
事務局だより	一八頁

平成28年5月12日

一般社団法人亜東親善協会役員名簿

名誉会長 (理事以外)	1名	玉澤 徳一郎			
参 与 (理事以外)	1名	橋本 靖男			
会 長 (代表理事)	1名	大江 康弘			
副 会 長 (理 事)	4名	山本 順三	張 建国		
		張 碧華	多 忠和		
専務理事	1名	赤松 則宏			
業務執行理事	4名	藤山 雅康			
〃		並木 正芳			
〃		柴田 徳文			
〃		笹岡 恭亮			
理 事	10名				
崎谷 秀彦	小松 省二	益山 茂	松永理恵子	三浦 信行	伊野 雅晴
山口 裕志	森 康郎	永島 剛士	小山 博史		
監 事	2名	李 ハロルド	鈴木 慶一		
事 務 局		崎谷 秀彦			
		李 孔曉			

一般社団法人 亜東親善協会

大江会長の新年のあいさつ



会長 大江 康弘

「新たな日・台友好の始まり」

新年あけましておめでとう
ございます。昨年は私共 亜
東親善協会の活動に對しまし
て多大なご理解とご協力を賜
りました事、心より感謝と御礼を申し上げます。今、中華民
国台湾との友好・親善は確実に一歩、一歩実を結んでいつて
おります。私の好きな言葉の一つに「逆境は真の友を作る」
「逆境で真の友を得る」という言葉があります。昨年は日本
と中華人民共和国が国交を結んで四五年だったそうです。こ
れは同時に日本と中華民国台湾が国交を断絶（一九七二年）
して四五年およそ半世紀という長い期間が経過したという事
であります。

最初は「こんな不幸な事はない」「こんな理不尽な出来事
はない！」と お互いそれぞれの国（中華民国台湾と日本）
を大切に想う国民はそう感じ、憤り、嘆きました。しかし、
この出来事こそが新たな日・台友好の又、真の日・台交流の
始まりであったのです。

この四五年間、中華民国台湾は国際空間を狭められ、行動
が制約されてきました。中国の理不尽な圧力 又それに同調

する国々の離反や裏切りなど、苦しい環境、厳しい試練が続
いてきました。あの無法国家北朝鮮でさえ、今国交がある国
は一六二ヶ国、それに比べて中華民国台湾はわずか二〇ヶ国
だけあります。

当然、我日本はこの二〇ヶ国の中には入っていません。中
華民国台湾の国民の皆さんに對しては、申し訳ない気持ちで
一杯です。

それでも昨年、アメリカでトランプ大統領が誕生した当初
は、対台湾関係のこれからに多大な期待をしたのですがそれ
も束の間、北朝鮮問題を契機にトランプ大統領は中国の習近
平国家主席に近づき、大きな期待は失望と落胆に変わまし
た。日本もそうですが中華民国台湾と同様に安全保障政策は
常にアメリカの手のひらの上にいる状態は戦後何一つ変わっ
ていません。この様な中で、中国は習近平体制が二期目を迎
え彼の国の国内事情をみても中華民国台湾への圧力は今後
増々強く、厳しいものになっていくでしょう。

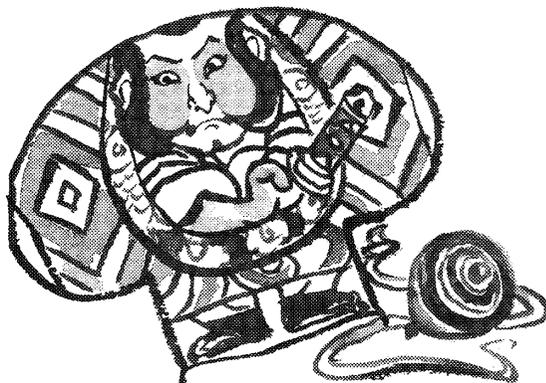
しかし、私は楽観しています。大いなる自信をもっていま
す。何故ならば先にも申し上げたようにこの辛く、厳しい
四五年の歳月は中華民国台湾にとって、誰が真の友なのか？
又、我々日本にとってどの国が真の友なのかを、しっかりと
見定めその結論を我々に与えてくれる日々を提供してくれた
からです。我々日本にとっての「雨天の友」こそ中華民国台
湾であるということを今、両国の多くの民間団体や関係者が

長年のそれぞれの人間関係、パイプを通じて、有意義な交流を続けてきています。正に下からの盛り上がりであり、草の根の拡がりです。この信頼関係こそが両国にとつての、これからの新しい次代に向けての大きいエネルギーであります。皆さん、勇気と自信を持って、この絆を強くしていきましょう。今年はその新たな日・台関係構築の第一歩、元年として一日一日を大切にしていきたいと思っています。

私達の協会もこの目標に向かって努力をしていく決意です。

さて、昨年は我々協会の発展、又戦後長らく両国の友好、親善のために日々努力をされてきた協会の理事でもあり、留日東京華僑婦女会の会長でもあった、呉淑娥会長がご逝去されました。ここに長年のご功績に対しまして心より感謝と御礼を申し上げますとともに、あらためてご冥福をお祈り申し上げます次第です。同時に、平野達男参議院議員（自民党）、前参議院議員 元法務大臣 岩城光英先生、埼玉台湾総会の榎本有里名誉会長の三人が理事として、就任していただきました。心強い限りです。又、松下新平参議院議員も本年には理事を引き受けていただける事になっています。多くの著名な方や、それぞれの分野で活躍されている皆さまの力をいただき結集しながら中華民國台湾と日本の更なる友好・親善を進めていく覚悟でありますので、どうか本年も皆さま方の変わらぬご指導、ご後援を心よりお願い申し上げます。

本年一年の皆さま方の活躍、ご多幸、ご健勝をお祈り申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



二〇一八年元旦謝代表の祝辞

台北駐日経済文化代表処 代表 謝 長廷



明けましておめでとうござ
います。新年を迎え、皆様が
ますますご清栄でありますこ
とをお慶び申し上げます。

私は一昨年の六月に着任以
来、これまで四五の都道府県
を訪問し、日本の各界の方々と交流を深めてきました。至る
ところでさまざまな分野の交流があり、台日間は深く強い絆
で結ばれていることを実感しました。これもひとえに、地道
に交流を積み重ねて来られた台日関係に携わる諸先輩方の努
力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昨年は、台日の窓口機関の名称が、日本側が「交流協会」
から「日本台湾交流協会」へ、台湾側が「亜東関係協会」か
ら「台湾日本関係協会」へと、よりわかりやすく改名されま
した。これは台日関係が新しい時代に入ったことを象徴して
います。

昨年一一月には、台日間の「税関相互支援協定」と「文化
交流協力覚書」が調印され、ますます双方の協力関係が強化
されています。東京・虎ノ門に当代表処の「台湾文化セン
ター」が二〇一五年に開設されたのに続き、昨年一一月には
台北市内に日本台湾交流協会の「日本文化センター」も開設
され、両国の文化交流は今後より一層活発になることが期待

されます。経済面では、台湾は日本と引き続き「積み上げ方
式」で経済連携強化を推進していくとともに、日本が主導す
るCPTPP（包括的及び先進的な環太平洋パートナーシッ
プ協定）を含む地域経済統合への参加も希望しています。

台日の実質的な関係を支えている地方交流も極めて重要で
あり、私が着任以来、約一年半の間に台湾と日本の地方自治
体間で四〇の交流協定または覚書が締結され、これまでと合
わせて九八に達しました。今年七月には「台日交流サミット」
が初めて台湾の高雄市で開催されることになり、日本からも
多くの地方議員が出席を予定しています。

日本の地方の特色ある文化イベントは、多くの台湾人観光
客を魅了しています。同様に台湾では、ランタンフェスティバ
ルが毎年元宵節（旧暦一月十五日）の前後に盛大に開催され、
今年も嘉義県がメイン会場となります。また、今年秋には台
中市で「台中フローラ世界博覧会」（花博）が開催されます。
客家文化の魅力が詰まった「台三線・客家ロマンチック街道」
も日本の皆様ぜひ体験していただきたいスポットです。

台湾と日本の良好な関係を次の世代へつなげていくために
は、修学旅行、留学、ワーキングホリデーなどを通じた若者
交流が極めて大切であり、育まれた友情は両国にとり、かけ
がえのない財産となるでしょう。世界情勢がめまぐるしく変
わる中、台日の「心と心」の友情は、世界平和の模範となり、
アジアの安定と発展にも寄与すると確信しています。

本年が皆様にとり、よい一年となりますようお祝い申し上
げます。

台湾フェスタ今年も開催

一般社団法人 亜東親善協会 理事

台湾フェスタin代々木公園 実行委員長

朱（笹岡） 恭亮

二〇一六年七月に開催された第一回「台湾フェスタin代々木公園」は二〇一七年七月二十九日（土）、三〇日（日）に第二回台湾フェスタin代々木公園として盛大に開催されました。



主催は日本に在留する華僑の二世、三世が中心となり、イベントのテーマとしては「日台交流という事で中華民国台湾の食と文化、物産を紹介するとともに相互の人的交流から両国の観光客の増員まで両国の親善交流を目的とするものでした。

当会（一社）亜東親善協会も日台交流という事で全面的に第一回、二回ともに後援団体として協力をしていただきました。当日は台湾の観光局はもちろんですが、東京都の観光ブースをはじめ、当会の大江会長の地元である和歌山県も出店していただき、観光を中心に各自治体の名所、名産品をアピールして日本と台湾との交流イベントを盛り上げていただきました。

会場の代々木公園音楽堂のメインステージでは初日二十九日（土）pm四：〇〇より開会の式典が行われ、まず華僑を代表して委員長の朱恭亮と中華聯合総会の魯徳薫、中華民国台湾政府を代表して台北駐日経済文化代表處の鄭仲熙副代表、当会（一社）亜東親善協会より大江康弘会長、日本台湾交流協会、都議会日台議員連盟特別顧問の小磯あきら氏に開会のあいさつをいただき、日本と台湾の強い結びつきをアピールをいたしました。また第一回目より日台交流応援隊長になって大会を盛り上げている、両親が台湾人で日本でモデルとして活躍している舞川あいくさんと、台湾で活躍している日本人の女優の大久保麻梨子さんの二人があいさつしてオープニン

グを盛り上げました。その後ステージでは台湾でも活動しているロンドンブーツの淳さんが自身が中心のロックバンドで参加したのを始めに台湾から多くの若手アーティストが音楽を披露しました。また、各大学の台湾からの留学生は、協力して東京同学会として参加してくれました。

料理エリアは台湾の屋台料理を中心に多くの出店がありました。

初日、一時的に雨が降った事もありましたが、二日間約一三万人の方々に来場いただきました。

さて今年、二〇一八年も第三回台湾フェスタin代々木公園を開催する予定になっております。(二〇一八年七月二八日(土)、二九日(日)) 今後とも日本の方々にもっと台湾の事を知っていただき、また台湾の方にも、もっと日本の事を知っていただき、今以上に観光を中心とした人的交流が益々発展できるように、さらに台湾フェスタin代々木公園がその一部の役割になれば良いと希望しております。

今後とも(一社)亜東親善協会、皆様のご協力と日台交流を応援して下さっている方々のご協力をお願いするとともに、第一回、第二回ともに皆様のご協力に感謝を申し上げます。

そして第三回台湾フェスタin代々木公園にもご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



一二月に理事会、研修会、懇親会開催

亜東親善協会は二月七日、東京・元赤坂にある明治記念館で理事会、研修会、懇親会を開いた。懇親会で大江康弘会長は、日台間はこの四五年間、厳しい環境にあったからこそ、双方の繋がりが深まり、お互いが真の友人として歩んでくる



ことができたとの考えを示した。その上で、「先輩たちが築き上げてきたことをしっかりと受け継ぎ、繋げていきたい」と述べた。

懇親会の前に開かれた研修会では、台日関係および台湾情勢をテーマに、台北駐日経済文化代表処の向明德・政務部長および日本台湾交流協会の柿澤未知・総務部長がそれぞれ、



ブリーフィングを行った。

向・政務部長はこの中で、台日の各窓口機関の名称変更、日本の総務副大臣の初めての公式訪問、菅官房長官による台湾のＴＰＰ参加への支持発言など、今年台日関係において様々な進展があったと説明した。謝長廷駐日代表についても、昨年六月に着任以来、日本国内四五道府県を訪問し、台日間の地方交流に努めていることを紹介した。さらに、今年台日の地方自治体間の友好協定が三〇以上も結ばれ、一二月六日にも台南市と山形市の友好協定が締結し、前台南市長の頼清徳行政院長からも締結式でビデオメッセージが披露されたことなども取り上げ、「台湾の政治家がいかに日本を重視しているかの証だ」と述べた。

柿澤総務部長は、近年台日間の実務対話は非常に広がりを見せているとの見方を示した。さらに民間交流、青少年交流も活発であり、とりわけ青少年交流においては、年間約四万人の日本の高校生が修学旅行で台湾を訪問し、現地で学校交流をしていると紹介し、「これは将来の日台関係において非常に重要なことであり、引き続き強化していく」と述べた。

続いて行われた懇親会では、当協会副会長の山本順三参議院議員が挨拶の中で、今年別府で開催された「アジア・太平洋国会議員連合（ＡＰＰＵ）」に中華民国（台湾）も創設メンバーとして出席したことや四国で「日台観光サミット」が開催されたことなどを紹介した。伊東良孝衆議院議員は、自

身の選挙区の釧路と台湾との友好交流について紹介した。松下新平参議院議員は、「日台関係をより一層強固にし、アジアの平和と安定のために取組んでいきたい」と述べた。懇親会では「一般財団法人台湾協会」の森田高光理事長が乾杯の音頭をとり、年内最後の懇親会ということで忘年会も兼ねた和やかな集まりとなった。



台湾からの留学生の国会見学会を開催

亜東親善協会では、二〇一七年十二月十三日、東京地区で学ぶ台湾留学生組織「中華民国留日東京同学会」の劉冠賢會長ほかメンバー三名による国会見学会を開催しました。

留学生たちは先ず、東京永田町の国会議事堂に隣接する参議院議員会館の会議室で懇談会を開きました。



顧問で参議院議員の

西田実仁先生、日本台湾交流協会の山崎智子副部长などが当協会幹部とともに参加していただき、ご挨拶をいただき、留学生からの安全保障や社会問題、奨学金などの質問や要望にも丁寧にお答えして和やかに懇談がなされました。

いずれの方々も現在の日台関係はますます増える相互の訪

問者などをはじめ良好であり、今後も両国の友好交流をさらに強化して行きたいとの思いを述べられました。

懇談会に続いて留学生たちは国会議事堂の参議院側を、本会議場や天皇陛下がご休憩なされる御休所、中央玄関広間など、衛視の説明を聞きながら興味深く熱心に見学しました。

見学後は国会正門前で記念写真を撮影するなどして「たいへん有意義な時間を過ごせた」との感想を述べながら帰路につきました（留学生感想文を後掲）。



国会見学 感想

台湾留日東京学生会 会長 劉 冠賢

朝一〇時半に永田町駅に着き、参加者約三五名の学生と国会について話しました。「初めて国会に来た!」、「日本の国会はやはり雰囲気違う」などの声がありました。国会は千代田区永田町にあります。国会議事堂の周辺には各政党の本部がございまして、首相官邸や衆議院議長公邸や参議院議長公邸などといった政治関係の施設が多く建っているため、永田町は政治の町と表現されることも多いです。

見学前の懇親会で参議院議員山本順三氏と前衆議院議員並木正芳氏にお会いする機会を得た。二人の議員さんに北朝鮮核問題、二〇二〇年東京オリンピックと日本経済、日本と台湾外交関係の話などを聞かせて頂いた。多くの参加者は「日本は政治無関心の方がたくさんいらっしゃるかもしれないですが、国会議員のスケジュールはさすがに忙しいだわ」、「議員会多すぎだろう」、驚きの声がたくさんありました。

見学中に参議院本会議場の傍聴席から議場内を眺め、普段テレビで見ている通りに椅子が並んでいる。天皇陛下がお使いになる御休所の天井の装飾や菊のご紋章の入った調度品の素晴らしさに目を奪われました。いつも大臣就任の集合写真を撮る階段も拝見し、日本の政治の中核に自分が今いることに感慨深かったです。中央広間には歴代の大臣像(板垣退助

元大臣、大隈重信元大臣、伊藤博文元大臣)があり、一か所完成されていないことの意味(「政治に完成はない、未完の象徴」)に感銘を受けました。

国会見学に参加したことで貴重な体験ができました。今回国会見学を通じて、生の国会風景を学習した、日本政治の仕事をよく理解でき、充実した一日でした。



国会見学会感想

黄 建誠

今回の国会見学を通じて、明治維新の自由民権運動による「国権の最高機関」を象徴する国会開設の歴史の重さを道近に感じることができた。最も華麗な中央広間には、議会政治の基礎と明治時代の自由民権運動に進めた功労板垣退助、大隈重信、伊藤博文の銅像があった。最も印象を残したのは、未完成した四つ目の台座にある銅像である。未完成の銅像に関して「政治に完成はない、未完の象徴」とよくいわれている。

様々な解釈があるかもしれないが、政治というものは一人で完結するのではなく、他人からの協力と協商が必要と私は感じる。さらに他国との協力も忘れてはいけない。今回の国会見学を通じてもう一度政治のあり方を考えさせられた。今日の見学会は、非常に有意義なものになったと思う。



国会見学会感想

陳 冠吾

今回の国会見学には、色々貴重な経験を学びました。やはり留学生にとって、他国の政治機関に見学は良い勉強機会だと思ってる。

最初議員たちとの会話の中に、日本の国会の運営と仕組みがある程度に想像できるようになった。やはり国最高の政治機関なので、いろんな政策や方針を立ってる時には、各方面から考えないといけない。その上、消費税などの議題に関しても、

詳しく説明してくれる、本当に良かったと思う。

午後の見学に、議場や国会の外観を拝見した上、建物自身の歴史感を見ると、穏やかな雰囲気を感じた。

今回の見学を通じて、留学生である私も、日本の政治と文化をさらに勉強することができました。



平成三十年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>台北駐日經濟文化代表處 橫濱分處 處長 陳 桎宏</p> <p>橫濱市中区日本大通り六〇 朝日生命横濱ビル二階 電話〇四五(六四一)七七三七</p>	<p>台北駐大阪經濟文化辦事處 處長 陳 訓養</p> <p>大阪市北区中之島二一三一―一八 中之島フアテイバルタワー一九F 電話〇六(六二二七)八六三三</p>	<p>公益財団法人日本台灣交流協會 理事長 谷崎 泰明</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 代表 謝 長廷</p>
<p>衆議院農林水産常任委員長 衆議院議員 伊東 良孝</p> <p>東京都千代田区永田二―二一―一 衆議院第一議員會館六二三号 電話〇三(三五〇八)七一七〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 札幌分處 處長 周学 佑</p> <p>札幌市中央区北四條四丁目一番地 伊藤ビル五階 電話〇一一(二二二)二九三〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 那霸分處 處長 蘇 啓誠</p> <p>那霸市久茂地三一―一五―九 アルテレビル那霸六階 電話〇九八(八六二二)七〇〇八</p>	<p>台北駐大阪經濟文化辦事處 福岡分處 處長 戎 義俊</p> <p>福岡市中央区桜坂三一―二四―二 電話〇九二(七三四)二八二〇</p>
<p>參議院議員 鶴保 庸介</p> <p>東京都千代田区永田町二―一―一 參議院議員會館三二三号室 電話〇三(六五五〇)〇三二三</p>	<p>自由民主党經理局長 衆議院議員 吉川 貴盛</p> <p>東京都千代田区永田町二―一―二 衆議院第二議員會館二二〇二号室 電話〇三(三五〇八)七四五―</p>	<p>衆議院議員 古屋 圭司</p>	<p>衆議院議員 金子 恭之^{やすし}</p> <p>東京都千代田区永田町二―一―二 衆議院第二議員會館四一〇号室 電話〇三(三五〇八)七四一〇</p>

平成三十年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>アジア問題懇話会 大陸問題研究協会</p> <p>会長 高野 邦彦</p> <p>〒二二六―〇〇二七 横浜市緑区長津田三一―三一―一九</p>	<p>日本中華聯合口總會</p> <p>会長 新垣 旬子</p> <p>〒一〇六―〇〇三二 東京都港区六本木七―一五―一三 ダイヤハイツル九〇九号室 電話〇三(六四四七)五〇一三 FAX〇三(六四四七)五〇一四</p>	<p>一般財団法人 台湾協会</p> <p>理事長 森田 高光</p> <p>東京都新宿区新宿六一―二九―一六 エルツ六ビル四F 電話〇三(三三〇〇)八一―一六 FAX〇三(三三〇〇)八一―一八</p>	<p>参議院議院運営委員長 参議院議員 山本 順三</p> <p>東京都千代田区永田町二―一―一 参議院議員会館一〇一九号室 電話〇三(六五五〇)一〇一―一九</p>
<p>学校法人 横濱中華學院</p> <p>理事長 林 訓一</p> <p>横浜市中央区山下町一四二番地 電話〇四五(六八二)三六〇八</p>	<p>株式会社ホテル横須賀</p> <p>代表取締役 長尾 和典</p> <p>横須賀市米が浜通り二―一七 電話〇四六(八二五)一一―一一 FAX〇四六(八二〇)一一―一三</p>	<p>中華民國留日横濱華僑總會</p> <p>會長 洪 益芬 理監事一同</p> <p>神奈川県横浜市中央区山下町一四〇番地 電話〇四五(六八一)二一―一四 FAX〇四五(二〇一)二八―五五</p>	<p>台湾觀光局東京事務所</p> <p>所長 鄭 憶萍</p> <p>〒一〇五―〇〇〇三 東京都港区西新橋一―五―八 川手ビル三階 電話〇三(三五〇一)三五―九一 FAX〇三(三五〇一)三五―八六</p>
<p>株式会社関門海</p> <p>専務取締役 本多 正嗣</p> <p>大阪市西区北堀江二―三―一三 電話〇六(六五七八)〇〇―二九</p>	<p>株式会社和興産業</p> <p>代表取締役 千葉 祐三</p> <p>東京都文京区千石三一―一四―一八 サンセチア文京四〇二 電話〇三(三三九四)〇〇―二八 FAX〇三(六九九九)七〇―三九</p>	<p>木下工業株式会社</p> <p>代表取締役 木下 和昌</p> <p>大阪府大阪市中央区北新町三番四号 電話〇六(六九四六)〇〇―七八 FAX〇六(六九四六)〇五―〇三</p>	<p>後藤泌尿器科皮膚科医院</p> <p>後藤 康文</p> <p>〒〇二七―〇〇八三 宮古市大通一丁目三番二四号 電話〇一九三(六二)三六―三〇</p>

平成三十年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>一般社団法人亜東親善協会 副会長 張 碧華 東京都千代田区外神田三十七ー七 電話〇三(三三三)五七 〇〇三三</p>	<p>一般社団法人亜東親善協会 会長 大江 康弘 東京都中央区銀座六―三十一一六 ウオールビル五〇五 電話〇三(六二七八) 八六九〇 FAX〇三(六二七八) 八三三〇</p>	<p>学校法人東京国際学園 東京外語専門学校 東京国際福祉専門学校 東京外語日本語学校 理事長 武田 哲一 東京都新宿区西新宿七―三―一八 電話〇三(三三三六七) 一一〇三</p>	<p>株式会社関門海 代表取締役 田中 正 千五五〇―〇〇一四 大阪市西区北堀江二―三―三三 電話〇六(六五七八) 〇〇二九 FAX〇六(六五七八) 〇〇三〇</p>
<p>一般社団法人亜東親善協会 理事 崎谷 秀彦</p>	<p>一般社団法人亜東親善協会 専務理事 赤松 則宏 千三四三―〇八三五 越谷市蒲生西町一―三―六八 サテライトオフィス六―四―〇三</p>	<p>一般社団法人亜東親善協会 業務執行理事 並木 正芳 千三五九―一一二二 所沢市泉町一七九三―一三―一〇一</p>	<p>学校法人電子学園 日本電子専門学校 学園長 多 忠和 おのおの ただかず</p>
<p>医療法人社団博翔会 会長 小山 博史 千三六四―〇〇〇一 埼玉県北本市深井五丁目六六番地 電話〇四八(五四三) 一〇一一 FAX〇四八(五四三) 一三二六</p>	<p>東光株式会社 代表取締役 山口 裕志 東京都渋谷区富ヶ谷二―一―五 電話〇三(五七九〇) 五七九〇 FAX〇三(五七九〇) 五七九九</p>	<p>一般社団法人亜東親善協会 理事 程 金笙</p>	<p>一般社団法人亜東親善協会 理事 柴田 徳文</p>

平成三十年 謹 賀 新 年 (順不同)

クラシックカー販売 長龍貿易(株)
代表取締役 榎本 有里

埼玉県新座市中野二一七―五
電話〇四八(四七七) 三五五八
FAX〇四八(四七七) 九〇一七

エイチアイインターナショナル株式会社
代表取締役 李 ハロルド

東京都新宿区新宿五―一七―一八
電話〇三(三三〇三) 〇一一一
FAX〇三(三三〇三) 〇一一九



事務所だより

平成三十年新春互礼会、講演会の開催

日期 平成三十年二月八日 木曜日

場所 キヤピトルホテル東急 鳳凰東の間

講演会講師 政治評論家 篠原文也先生

時間 午後五時～午後五時五十分 桐の間

演題 【二〇一八年安倍政権の課題と展望】

*新入会員のご紹介 平成二十九年十一月十六日～平成三十年一月十五日

藤津晃、町田浩、関根勇治



季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 平成30年 新春号 (No.64)

発行日 : 平成30年1月15日

発行所 : 一般社団法人亜東親善協会

発行人 : 大江康弘

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : <http://www.atoushinzen.com>

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

東アジアの民主と平和 友好親善にあなたの力を!!



友情と信頼
一般社団法人 亜東親善協会

只今、会員を募集しております。

入会の手続き

1. 事務局所定の入会申込書を提出していただきます。
2. 入会は、協会の理事会の議を経て承認されます。

法人会費 50,000 円以上
賛助会費 30,000 円以上
個人会費 10,000 円以上



台湾の翼 チャイナエアラインなら、 うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事でのご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください



www.china-airlines.com/jp/jp